

憲法9条破壊・民意無視

暴挙糾弾!

戦争法案



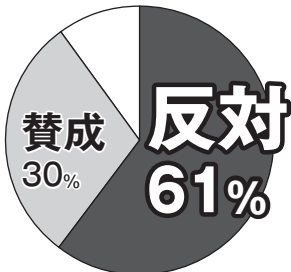
戦争法案をめくり緊迫する14日、4万5千人が国会前を埋め、「強行採決反対」「廃案」を訴えました。

日本共産党

採決を強行

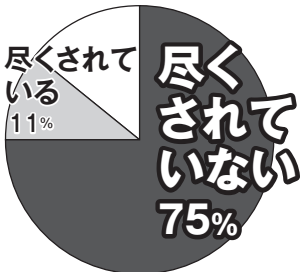
自民・公明

今国会成立は?



(JNN世論調査5.6日)

国会議論は?



(「朝日」15日付)

日本を「海外で戦争する国」にしてしまう戦争法案を、安倍政権、自民党、公明党が強行しました。法案の衆院提出から4カ月、理解が深まるほど反対が広がり、「なぜ集団的自衛権の行使が必要なのか」など、法案の根幹部分ですら説明が二転三転しました。法案はボロボロ、追い詰められての採決です。

法案は多数の憲法学者、元法制局長官につづき、元最高裁長官も「違憲」と断じました。メディアの世論調査では今国会成立反対が6割前後、説明不十分は7~8割と圧倒的多数です。民意を踏みにじり、違憲の法案強行という戦後政治で最悪の暴挙です。

怒りを集め、「戦争する国」づくりを許さないたたかい、安倍政権打倒へさらに力を合わせましょう。

近畿民報

発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所
2015年9月 No.3 (第210号)
〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10
ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp
※日本共産党は以上の見解を発表しました。

「海外で戦争する国」許さない 安倍内閣打倒へ力あわせよう